# 時分地 ーその時々の自分に寄り添う居場所ー

a602022376 森山 舞優

「時分地」は”時分（その時々の自分の状態）”と”自分家（自分の居場所/じぶんち）”を掛け合わせた言葉である。
つまり、住まいを”固定化された住戸”としてではなく、時間的に変化する私たちとともに更新され続ける「居場所」として捉え直す試みである。

戦後につくられた団地は、効率的で画一的な暮らしを支える住まいとして発展してきた。
しかし現在は、単身高齢者の増加、子育て世帯の現象、空き住戸、地域コミュニティの衰退、建物の老朽化、暮らしの多様化などさまざまな変化に対応できていない。
そこで本計画は、団地を”固定化された住空間”としてではなく、住む人がその時々の気分や状態、状況に合わせて自由に寄りかかれる”居場所の集まり”として再編した。

1階～4階には、和室、託児所、ジム、自習室、カフェ、ドッグラン、ランドリー、ごろごろスペースなど、孤立したい時、誰かと関わりたい時、集中したい時など、
さまざまな状態の自分を受け止める共用空間を配置した。
ここでの居場所の幅は高齢者の孤立や子育ての負担といった団地が抱える社会課題にも寄り添うことができる。

3階で2棟を繋ぐ渡り廊下は、ただの動線ではなく、世代や生活時間が交差する中間領域である。
ここでは偶発的な見守りや、”顔の見える関係”が自然に立ち上がり、高齢者の孤立防止やコミュニティの再編に繋がる。

上層階には、一人暮らし、二世帯、メゾネット、大人数家族、バリアフリーなど多様な住戸を用意し、人生のステージや家族の形が変わっても、
”今の自分に合う住まい”を団地内で選び続けることができる。

「時分地」は、団地の持つ長い時間の層に、住む人一人ひとりの”いま”を重ね直すことで、その時々の自分を大切にできる居場所のあり方を提示する。
変わりゆく自分を受け入れられること。
それが、この団地で暮らす価値になる。















計画敷地　大阪府大阪市鶴見区諸口1-7-55 地上11階建て・地上9階建ての団地2棟





周辺には団地が多く建てられている。

本計画の敷地に大阪市鶴見区諸口の既存団地を選定したのは、「時分地ーその時々の自分に寄り添う居場所」という本作品のコンセプトを具現化するうえで団地が最も適したフィールドであると考えたためである。

さらに既存団地のリノベーションは、解体・再建に比べて環境負荷が低く、地域の記憶を残すことができる。
また、外廊下、棟間空間、広場といったもともと団地が持っていた”ゆるやかな関係性”をつくる空間のポテンシャルが残っているため、再編できると考えた。
そこから本計画でつくられた共用部や渡り廊下などは、一つの住棟の変化が周辺住民の生活に影響を与え、エリア全体のコミュニティ再生に繋がる可能性を持つ。

団地が多く集まっていることは同じ課題を抱える周辺団地にも応用可能であり、未来の持続可能な住まいの再生モデルになると考えた。



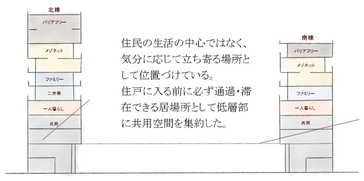
共用部+住戸の関係性　住戸結合という手法　二世帯用住戸・可変住戸

鶴見区の人口構成データを見ると、15歳未満人口の割合が高く1世帯あたり人員も多いことから、”子育て世帯や家族単位での居住が地域の大きな特徴であることが読み取れる。
加えて、3世代世帯の割合も大阪市内で高く、単身世帯・核家族・大人数家族が混在する、家族構成の多様性が顕著な地域であるといえる。

しかし、既存の団地住戸は画一的な間取りを前提として計画されており、こうした多様な世帯構成や、成長、独立、介護といった家族の時間の変化に十分に対応できていない。

そこで本計画では、その時々の家族のかたちに応じて選べる複数の住まい方を用意することを計画の軸とした。
具体的には、一人暮らし向け住戸、二世帯向け住戸、メゾネット住戸、複数住戸を一体化した大家族向け住戸、そして高齢者や将来の身体変化に対応するバリアフリー住戸など、世帯人数、世帯構成、生活リズムの異なる住戸タイプをフロアごとに配置している。

これにより、住民はライフステージの変化に応じて団地内で住み替えを行うことができ、引越しによって地域との関係を断ち切ることなく、自分家として住み続けることができる。



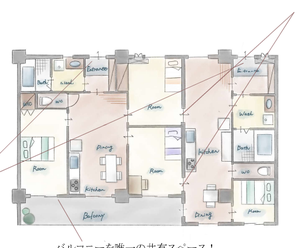

住民の生活の中心ではなく、気分に応じて立ち寄る場所として位置づけている。
住戸に入る前に必ず通過・滞在できる居場所として低層部に共用空間を集約した。

渡り廊下を3階に設けた理由は、地上すぎると「通過動線」になりやすく、上階すぎると「目的のある人だけの動線」になってしまうから。
3階は住戸と共用の境界でもあり、外に出るのも部屋に戻るのもちょうどいい。
この中間層だからこそ「移動のための通路」ではなく、立ち止まり、気配を感じ、視線が交差する居場所になる。





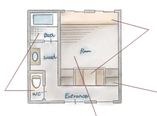
二世帯 おじいちゃんおばあちゃんと一緒に暮らす（北棟6F・南棟6F）
子育てへの不安や両親の介護など、さまざまな理由で近くで暮らしたいと考える人がいる。
しかし、住戸を二戸借りたり、戸建てに引っ越したりするのはハードルが高いと感じることもある。
また、心配だけどあまり近すぎたりするのも抵抗がある人もいるだろう。
そんな悩みを解決すべく、ちょうどいい距離感で暮らせる間取りを提案する。



玄関が二箇所あることもポイント！
生活スタイルが違えば当然家を出入りする時間帯も異なり、
朝早くや夜遅くに出入りする玄関の音が気になることがある。
また、玄関は相手の行動が一番大きくわかってしまう場所でもあり、「どこいくの？何しに行ってたの？」が干渉の一つになってしまう可能性がある。”ちょうどいい”を叶えるために重要なポイントだと考えた。

一人暮らし
最低限だからこその幸せ（北棟5F・南棟5F）
最低限必要なものだけで設計したため、常にいる部屋を一般的な1Kの住戸よりも大きく特別に設計できた。
また、足りないものを補う行為でコミュニケーションが生まれる。
洗濯機とキッチンがないため、下の階のランドリーや同じフロアにある”みんなのキッチン”を利用する。
”一人暮らしだけどひとりじゃない”をかなえられる。





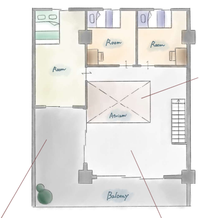

備え付け家具で広さを確保！
備え付けのデスクとダイニングテーブルセットがあるため、追加で家具を置く必要がなく部屋を広く保つことができる。

階段下は収納スペース！
階段を開けることができる。

共用だと少し面倒だと感じる部分や衛生的にあまりよくない部分は部屋に備わっている。

自分だけの特別な空間
必要な物を最低限にすることによって1Kでは難しい独立した部屋をつくることができた。
さらに、小上がりになったロフト空間のようになっているため特別感が生まれ落ち着いて過ごせる。

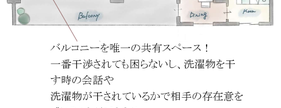
メゾネット2F パターン②（北棟9F・南棟8F）




メゾネットでしかできない吹き抜けをつけることができ、2Fからの採光の確保、風通しがよくなる。
さらに、1F±2Fとの繋がりが生まれ家族の気配を感じられる。

L字バルコニーにすることで開口を取れる面が一面増えた。

開放感のある踊り場
プライベートと共有スペースのバランスを取ることができる。
二面バルコニーに面していて吹き抜けもあるため、ご飯を2Fに持ってきて食べたりバーベキューなどもできる。



バルコニーを唯一の共有スペース！
一番干渉されても困らないし、洗濯物を干す時の会話や
洗濯物が干されているかで相手の存在意を感じることができたり
安否確認ができる。
（私も「お迎えさん最近洗濯してないね。なんかあったのかな？」
や雨が急に降ってきた時みんなが一斉にベランダに出てきて会話が生まれた経験がある。）

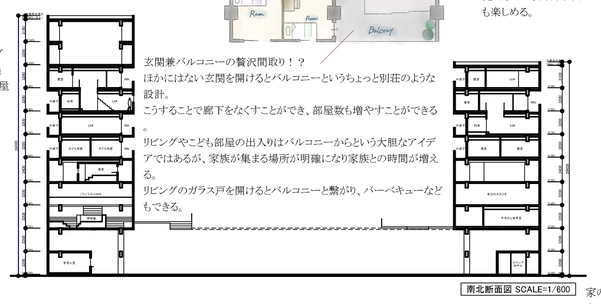
バリアフリー ゆったり暮らす（北棟10F・11F・南棟9F）
一般的にバリアフリー階は下層階に入っていることが多いが、下層階はセキュリティや湿気、寒さが気になるため今回の計画では上層階に設置した。上層階プランドが気持ちめに嬉しかったり、エレベーターに乗る際一番に乗れるというメリットもある。
（下でエレベーターを待っているとすでに上から乗ってきている人でいっぱいになり何回も見送らなければいけない場合がある。）
内装はシンプルではあるが車椅子や介護用のベッドが必要な人でもゆったり過ごせる寸法で設計した。
エレベーターホールから玄関、部屋、バルコニーまで一切段差も設けていない。

子ども部屋からの秘密ルート！？
”お母さんとおばあちゃんはそんなに会いたくないけど、こどもはおじいちゃんおばあちゃん大好き”や”毎日孫に会いたい！”という場合も考えられるため、こども部屋からは自由におじいちゃんおばあちゃん家にいけるように設計した。
玄関を出ずに行き来できるため、お母さんは一人でも安心して行かせられる。
こどもが大きくなってもこの距離なら”忙しくておばあちゃん家に行かなくなる”なんてことも起こらないだろう。




二住戸を一住戸に
大人数家族で暮らす（北棟7F）
家族が多いから団地に住むのは窮屈だと若者が団地を出てしまうことも多くある。そんな問題を解決すべくもともと二住戸だったところを一住戸とし、部屋数を多く設けた。

こども連れに嬉しい土間ガレージ！
キャンプ用品や部活用具、自転車など外で使ったものをそのまま片付けられるので、家に砂が上がる心配がなくなる。また備え付けの棚がガラス張りで見えるため、釣り具やサーフボードなど見せる収納も楽しめる。

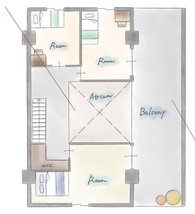


南北断面図 SCALE=1/600

玄関兼バルコニーの贅沢間取り！？
ほかにはない玄関を開けるとバルコニーというちょっと別荘のような設計。
こうすることで廊下をなくすことができ、部屋数も増やすことができる。
リビングやこども部屋の出入りはバルコニーからという大胆なアイデアではあるが、家族が集まる場所が明確になり家族との時間が増える。
リビングのガラス戸を開けるとバルコニーと繋がり、バーベキューなどもできる。



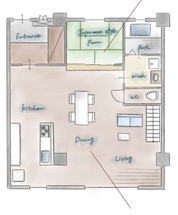
メゾネット2F パターン①（北棟9F・南棟8F）




メゾネット1F　二階建てに住む夢は団地でも叶う！（北棟8F・南棟7F）
憧れの戸建てや二階建てを団地の中でも叶えようと設計した。こどもがいると家で走り回ったり、飛び跳ねたりすることがあるが下の階の住人さんとトラブルになることがある。
しかし、メゾネットにしてしまえば下の階は家族！
2F部分では走りたい放題になる。
また、2Fには玄関が必要なくなるため、本来外廊下になる部分まで部屋にすることができる。



縦まるまるバルコニー！
本来ある方向ではない方向にバルコニーを設けたため、3方向に開口部を開けることができた。
また、隣の住戸との接地面が一面減ったため、騒音問題も少し解消される。

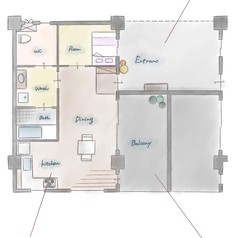



広々家族スペース！
メゾネットにすることで個室を2Fに持っていくことができるため、大きく共用スペースを取ることができる。
もちろん廊下も必要ない。

家の中の縁側！
和室の入口が少し上がっていてリビングよりも少し高い位置からの眺めになる。
お客さんが来た時のゲストルームとして使うこともできる。



共有の小さな庭
お隣さんと共有ではあるが、本来住戸内となる部分を少し削って広いエントランスを設けた。
買い物をした帰りに一旦荷物をおいてゆっくり中に入れたり、車椅子の乗り換えや置き場に困らなくなる。
さらに、少し外に出たい時や誰かとおしゃべりしたい時のちょっとした居場所にもなり、高齢者の孤立を防ぐことにも繋がる。

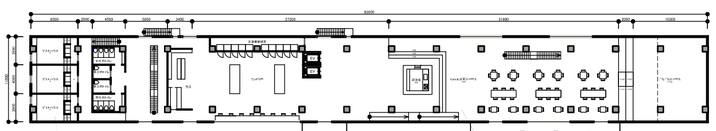



車椅子でも作業しやすいように対面やアイランドキッチンではなく、L字のキッチンを採用した。

大きな大きなバルコニー！
通常よりも幅を大きくとっているため車椅子が回転することもでき、洗濯物を高く干さなくても平面的に広げて干しても十分な広さである。
奥深い形なので雨の日も焦らず洗濯物を干すことができ、ガーデニングをして楽しむこともできる。

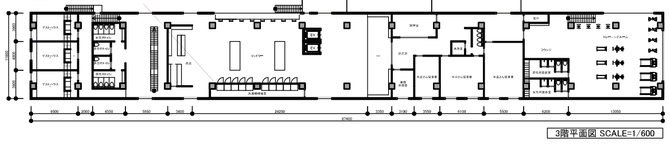


縦まるまるバルコニー！
本来ある方向ではない方向にバルコニーを設けたため、3方向に開口部を開けることができた。
また、隣の住戸との接地面が一面減ったため、騒音問題も少し解消される。



友達やおじいちゃんおばあちゃんが遠くから遊びに来た時に部屋数が足りない場合、団地内でゲストハウスを借りることができる。

カフェ兼自習室になっていて、住人の大きなリビングダイニングの役割を果たす。
環境を変えて課題をしたい時や、おしゃべりする居場所にもなる。
渡り廊下に出るとテラス席もある。

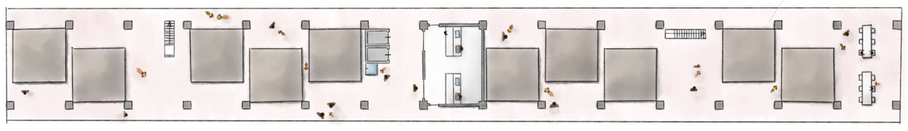


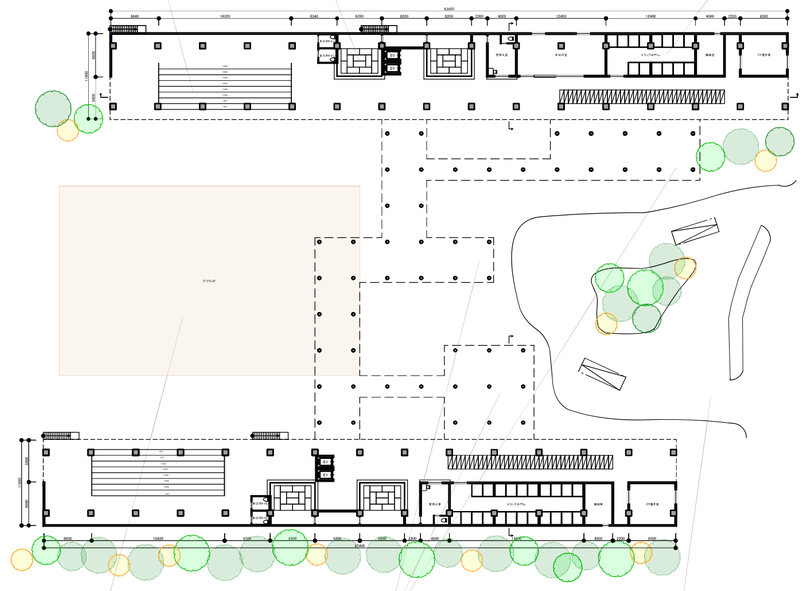
3階平面図 SCALE=1/600

5Fの一人暮らし用の住戸には洗濯機がないため、共用のランドリーを設置した。直線階段からそのまま下りてこられる。
一人でも孤立しないようにするための工夫でもある。

5Fは半屋外空間になっているため、住戸の周りがドッグランになっている。
地面はわんちゃんに優しいタータンになっている。
一人暮らしでもにぎやかな生活を送ることができ、飼い主さん同士のコミュニケーションも生まれる。

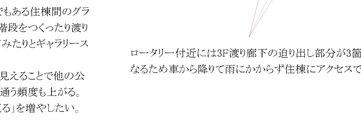






1F平面図 SCALE=1/600

奥行きも高さもしっかりある大階段なのでお弁当を広げたり宿題をしたりいろいろな使い方ができる。
また、グラウンドとセットで小さい競技場のようになるため、イベントも開催できるようになっている。
さらに、階段裏にも秘密基地のような空間が生まれ、こどもたちが遊ぶのにも適した場所となっている。



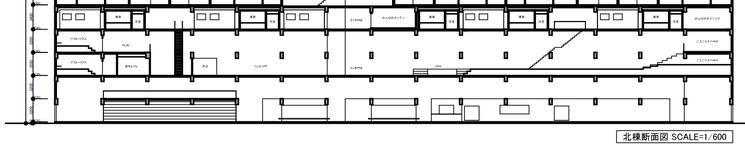
春日台センターセンターという建築事例を参考に縁側のような和室を共有スペースにつくった。
半屋外空間なので風通しがよく、外には出たいけどガッツリはしんどい人のためにぴったり。
高齢者や赤ちゃんがいるお母さんなどに使ってもらいたい。
グランドを眺めることもできるため、外遊びの休憩スペースや見守りスペースにもなる。

もともとあった団地ならではの良さでもある住棟間のグラウンドはそのまま残して、周辺に大階段をつくったり渡り廊下を被せてみたり和室をつくってみたりとギャラリースペースを増やした。
自分の家からもグラウンドの様子が見えることで他の公園とは違う自分の大きな庭感があり通う頻度も上がる。
「○○くん遊んでるから僕も行ってくる」を増やしたい。

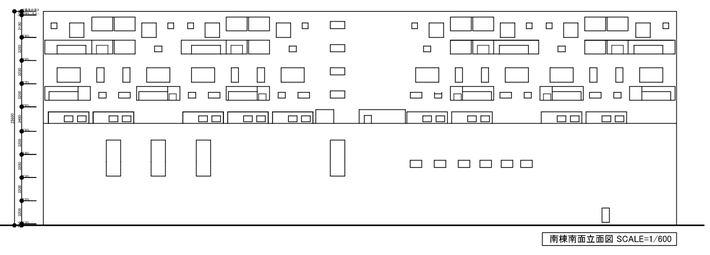
ロータリー付近には3F渡り廊下の迫り出し部分が3箇所あり、屋根になるため車から降りて雨にかからず住棟にアクセスできる。

既存の団地にはコインパーキングが設置されていたが宅配や幼稚園バス、デーサービスの車が路上駐車しているのをよく見かけていたため、駐車できるくらいゆったりしたロータリーをつくった。

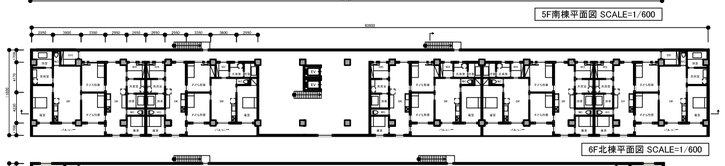
荷物が多くて部屋に入りきらず、トランクルームを別で借りている人も多くいるため車を出さなくても住む敷地内にトランクルームを設けた。
荷物が多くいという理由だけでなく、スキーやサーフィン、キャンプなどのレジャー用品、オフシーズンの物など用途はさまざまである。



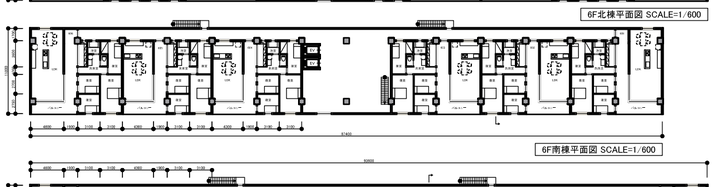
北棟断面図 SCALE=1/600



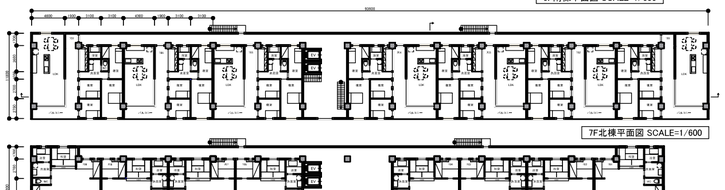
南棟南面立面図 SCALE=1/600



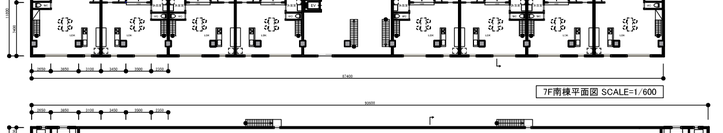
2F北棟平面図 SCALE=1/600



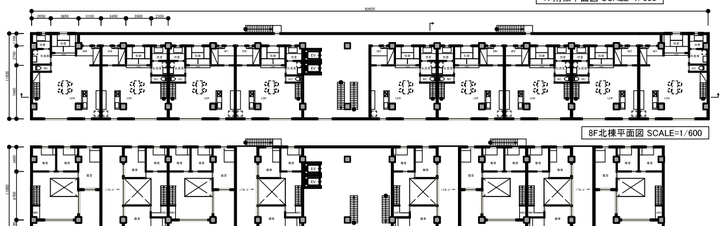
2F南棟平面図 SCALE=1/600



4F北棟平面図 SCALE=1/600



4F南棟平面図 SCALE=1/600



5F北棟平面図 SCALE=1/600



5F南棟平面図 SCALE=1/600



6F北棟平面図 SCALE=1/600



6F南棟平面図 SCALE=1/600



7F北棟平面図 SCALE=1/600



7F南棟平面図 SCALE=1/600



8F北棟平面図 SCALE=1/600



8F南棟平面図 SCALE=1/600



9F北棟平面図 SCALE=1/600



9F南棟平面図 SCALE=1/600



10F北棟平面図 SCALE=1/600



11F北棟平面図 SCALE=1/600